

主に集金させていただくもの

- 主食代 1,200円/月
- 副食代 4,500円/月(基準日以下の利用) 5,500円/月(基準日以上の利用)
- 絵本代 420円/月
- 以下希望者のみ
- 補食代 150円/食 夕食代 400円/食
- 防水シート 1,580円/枚
- 体育教室 2,000円/月 ※別途紛失時や希望者のみかかるものがございます



持ち物について

《0～2歳児クラス》

紙おむつ 適量

おしりふき 1～2個

トレーニングパンツ。パンツ 必要数

下着シャツ(半袖)・ズボン・上着 各3枚

靴下 1足

バスタオル・防水シート 各1枚

汚物入れ 2枚程度

避難靴 1足



《3～5歳児クラス》

下着シャツ(半袖)・ズボン・上着 各3枚

靴下 1足

バスタオル・防水シート 各1枚

汚物入れ 2枚程度

避難靴 1足

歯ブラシ・コップ 1セット



よくあるご質問

Q.オムツは園で破棄してくれるの？

A.園で出た紙おむつのゴミは園で破棄いたします。おもらしをしてしまった衣服や嘔吐がかかってしまった衣服は感染予防の観点から洗わずにお持ち帰りしていただいております

Q.熱がある場合のお迎えのタイミングは？

A.園で熱が上がってしまった場合、新型コロナウイルスの感染が終息するまでは、37.5℃でお迎えをお願いしております。また、発熱で降園された場合は24時間経過してからの登園をお願いしております。熱がなくとも下痢や嘔吐を繰り返している場合、いつもと様子が違う場合はお迎えをお願いする場合がございます。

アスク東比恵保育園



★園目標★

わくわくどきどきしながら、笑顔いっぱい輝く子ども

①わくわくどきどきな体験を自分から楽しんでできる子ども

②人を思いやり、いたみがわかる心豊かな子ども

③考え想像し自分なりの見通しをもって最後までやりぬく事ができる子ども

④身の回りのすべての事に感謝し生きる力をもてる子ども

子どもが主体的に活動し、自発性や探索意欲などが高まるよう一人ひとりを大切に寄り添った保育を心掛けています。月の絵本や貸し出し図書など、日々の保育やご家庭でも絵本に触れ合える機会を多く取り入れています。

事業者 | 株式会社日本保育サービス
<https://www.nihonhoiku.co.jp/>



保育園の概要

(1) 住所 〒812-0007 福岡市博多区東比恵 3 丁目 3-25

▶地下鉄空港線東比恵駅より徒歩 4 分

(2) 電話番号 092-477-2663

(3) 対象年齢 生後 3 ヶ月経過後 ～ 就学前児童

(4) 入所定員 70 名

年齢	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児
定員	6 名	15 名	16 名	11 名	11 名	11 名

*定員を超えて受入を行う場合もございます。

(5) 開所時間

《標準時間》基本保育時間 月～土 7 時 00 分～18 時 00 分

延長保育時間 月～土 18 時 01 分～20 時 00 分

《短時間》基本保育時間 月～土 9 時 00 分～17 時 00 分

延長保育時間 月～土 7 時 00 分～8 時 59 分 17 時 01 分～20 時 00 分

(6) 保育事業内容

月極保育、延長保育、障がい児保育、地域子育て支援事業等

(7) その他

園ブログや詳細情報、
地図はHPをチェック



園内の様子



広い園庭



保育室



プランターで野菜を育てています



屋上

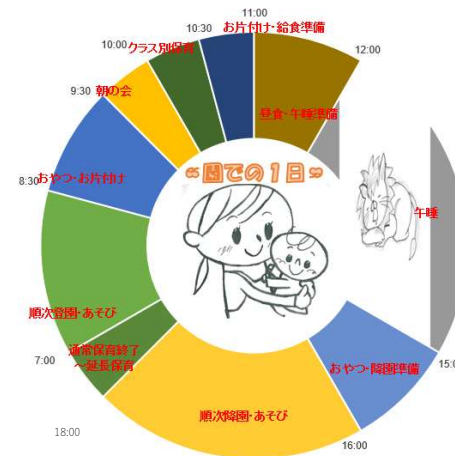


園目標



体育教室

一日の様子



毎日、園庭で元気いっぱい身体を動かして「動物体操」を行います！

体操のあとは、クラスに分かれて朝の会で季節の歌を歌い、天気の良い日は屋上や園庭で遊んだりお散歩に出かけたりします。

栄養たっぷりのおいしい給食をおともだちと一緒に食べ、子どもたちの発達に合わせてお昼寝をします。お昼寝のあとは、おやつを食べ、終わりの会を行い、お友達と遊びながらそれぞれのお迎えを待ちます。



行事について

	子ども参加の行事	保護者参加の行事
4 月		入園式
5 月	定期健康診断	保育参加
6 月	定期歯科検診 尿検査(4、5 歳児)	
7 月	プール開き	七夕夏祭り
8 月	プール納め	
9 月	敬老ふれあい会	
10 月	芋ほり遠足	運動会
11 月	定期健康診断 勤労感謝の日	
12 月	あすくっこお楽しみ会	生活発表会
1 月	お正月遊び	個人面談
2 月	豆まき	保育参観・運営委員会
3 月	お別れひなまつり会 お別れ遠足	卒園式

毎月一回、誕生日会、避難訓練、身体測定を実施しています。子どもたちの成長は、内容豊かな日常生活があってこそ成り立ちます。その日常生活には安定感が必要ですが、行事は子どもたちの生活に変化と成長を与える機会となります。そのため子どもたちが園生活を主体的に楽しみ、生活体験や人間関係を深める機会につながるようねらいをもって取り組んでいます。



七夕夏祭り会。年長児の太鼓に合わせてみんな楽しく踊ります。

うんとこしょ！友だちと力を合わせて、秋の芋ほり遠足。

